

第2章 地域の概況

第1節 自然的特性

1. 位置、地形

大和市は、神奈川県ほぼ中央部に位置し、東は横浜市、西は座間市、海老名市、綾瀬市、南は藤沢市、北は相模原市、町田市に接しています。

市域は南北に細長い形をしており、面積は27.09km²で、東西約3km、南北約10kmの広がりがあります。

一帯の地形は相模野台地と呼ばれており、西の座間丘陵・高座丘陵、東の多摩丘陵に挟まれた平坦で起伏のない地形となっています。標高は約30m～90mで、北から南に向けて低くなっています。市域の西側には南北に泉の森を水源とする引地川が、また東側には多摩丘陵との間に境川が流れています。



出典：第10次大和市総合計画

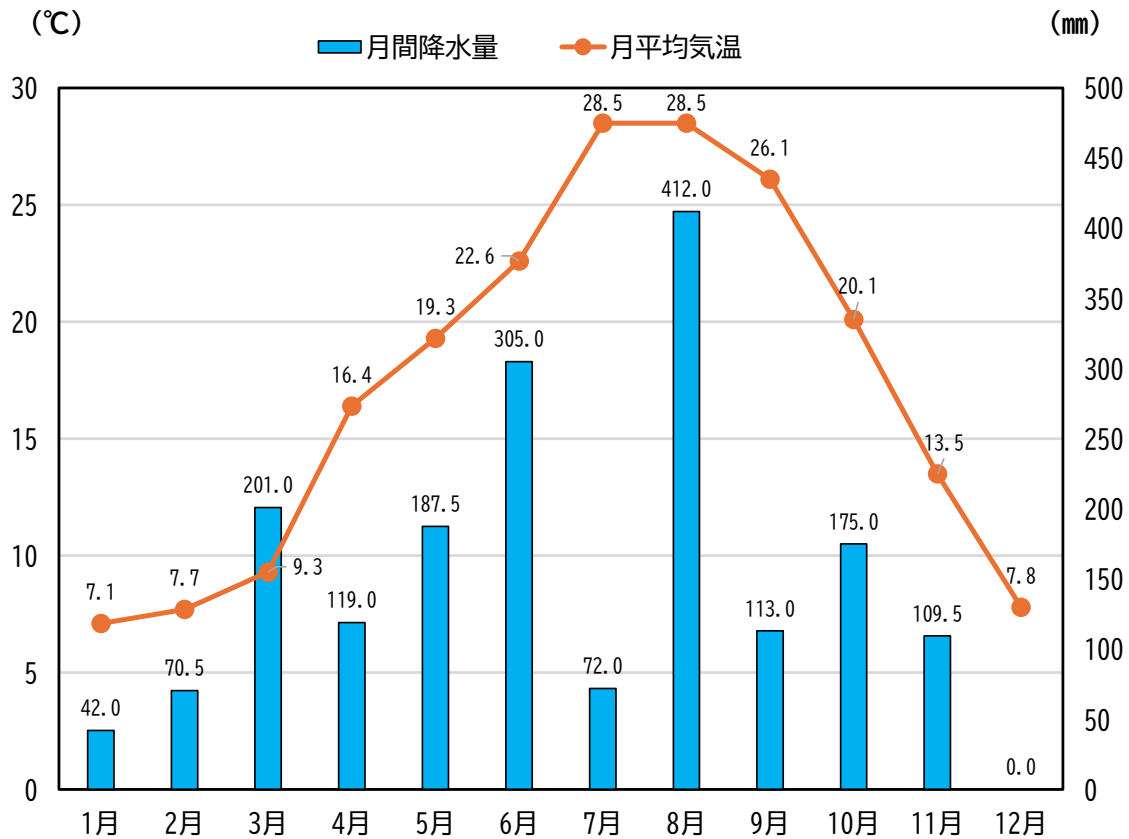
図 2-1-1 大和市の位置

2. 気象

本市の気象の状況を図 2-1-2 に示します。

大和市は、年間を通じて比較的温暖な気候に恵まれており、令和 6 年度の平均気温は 17.2℃、降水量は年間 1,806.5mm でした。

梅雨時期や秋の台風シーズンにはまとまった雨が降りますが、年間を通じて極端な気象は少なく、暮らしやすい気候が特徴です。冬の寒さは比較的穏やかで、積雪はまれです。



出典：大和市統計概要 令和 6 年度版より作成

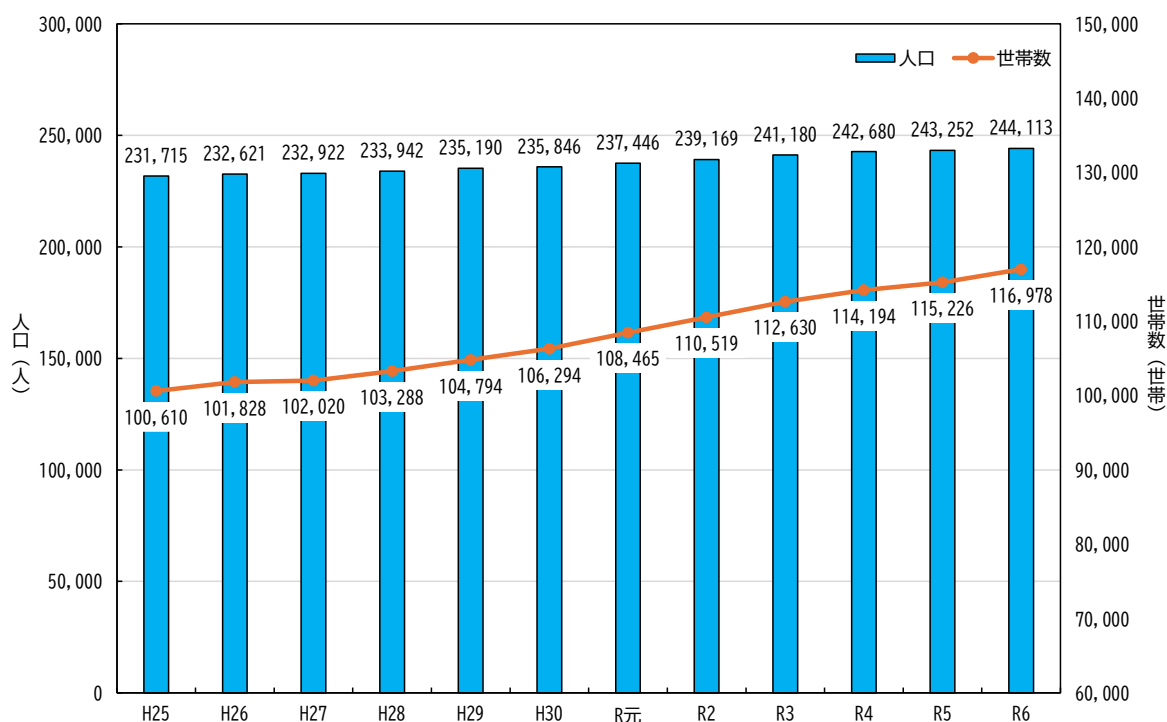
図 2-1-2 気象の状況

第2節 社会的特性

1. 人口、世帯数

(1) 人口及び世帯数

令和6年度（2024年度）における本市の人口は244,113人、世帯数は116,978世帯となっており、平成25年度（2013年度）と比較して、人口は5.4%の増加、世帯数は16.3%の増加となっています。



出典：大和市統計概要 令和6年度版より作成

図2-2-1 人口・世帯数の推移（各年10月1日）

表2-2-1 人口・世帯数の推移（各年10月1日）

項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
人口 (人)	231,715	232,621	232,922	233,942	235,190	235,846	237,446	239,169	241,180	242,680	243,252	244,113
男 (人)	116,059	116,459	116,714	117,051	117,668	117,831	118,644	119,582	120,269	120,997	121,223	121,399
女 (人)	115,656	116,162	116,208	116,891	117,522	118,015	118,802	119,587	120,911	121,683	122,029	122,714
世帯数 (世帯)	100,610	101,828	102,020	103,288	104,794	106,294	108,465	110,519	112,630	114,194	115,226	116,978

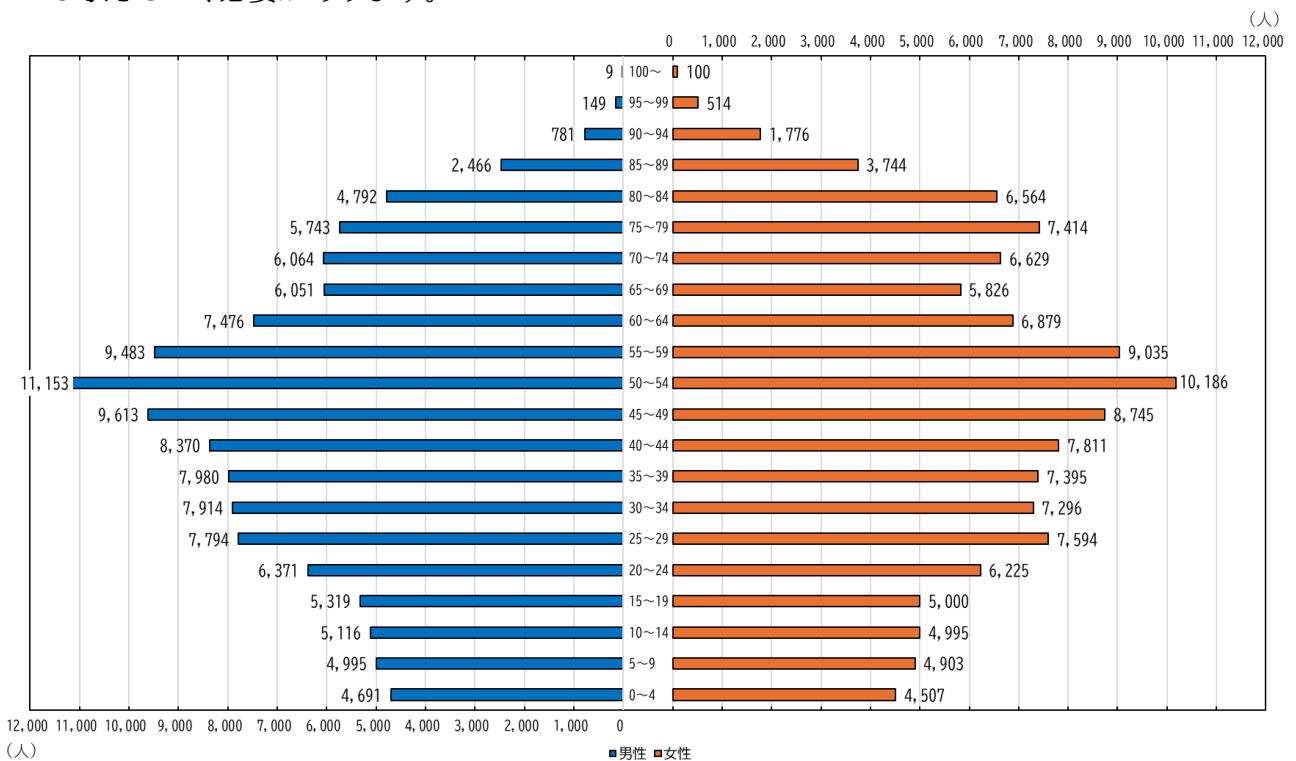
出典：大和市統計概要 令和6年度版より作成

(2) 年代別人口

令和6年9月末時点における大和市の年齢別人口をみると、50歳から54歳の層が最も多く、いわゆる「団塊ジュニア世代」が人口の中心を占めています。この世代は、昭和40年代後半から50年代前半にかけて出生数が多かった時期に生まれた人々であり、地域社会の中核を担う存在です。

また、40代後半から60代にかけての人口も比較的多く、高齢化が進む中であっても、現役世代の層が厚いという特徴があります。一方で、10代以下の年少人口は、他の年代と比較すると相対的に少なく、出生数の減少や少子化の影響が市の人口構成にもあらわれています。

現在の人口構成を見ると、今後、ごみの量や内容が変わってくるのが予想されます。たとえば、高齢化が進めばごみの種類や量が変わったり、収集の方法を工夫する必要が出てきたりするかもしれません。こうした変化に対応できる仕組みを、中長期的な計画の中で考えていく必要があります。



出典：大和市統計概要 令和6年度版より作成

図 2-2-2 年齢別人口（令和6年9月30日時点）

平成12年から令和2年の国勢調査による本市の世帯数、平均世帯人員、ならびに世帯構成の推移については、表 2-2-2 に示すとおりです。

この間、1人世帯の増加が顕著であり、特に平成27年から令和2年にかけては、1人世帯が約9千世帯増加しています。また、65歳以上の高齢者のみで構成される世帯の割合も増加しており、本市において高齢化が着実に進行していることがうかがえます。

第2章 地域の概況

表 2-2-2 本市の世帯数、平均世帯人員ならびに世帯構成数の推移

	一般世帯数	一般世帯人員	1人世帯数	2人以上世帯数	平均世帯人員	1人世帯比率	65歳以上比率
平成12年 2000年	84,243	211,178	25,334	58,909	2.51	30.1%	11.6%
平成17年 2005年	90,056	216,605	29,313	60,743	2.41	32.5%	15.3%
平成22年 2010年	97,187	225,920	32,378	64,809	2.32	33.3%	19.4%
平成27年 2015年	101,931	229,799	36,140	65,791	2.25	35.5%	23.0%
令和2年 2020年	110,397	235,497	44,958	65,439	2.13	40.7%	24.4%

出典：国勢調査（総務省）より作成

2. 産業

本市の産業分類別の事業所数及び従業員数の推移を表 2-2-3 に示します。

本市における事業所数は減少傾向にあり、とくに小売業や飲食業等の小規模事業所において減少が目立っています。一方、従業員数については総数で増加傾向を示しています。

表 2-2-3 産業分類別事業所数及び従業員数の推移

産業分類	平成24年		平成28年		令和3年	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
総数	7,580	76,316	7,479	76,799	7,028	78,277
農林漁業	5	42	7	40	5	28
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-
建設業	758	5,589	731	5,286	760	6,768
製造業	531	11,505	456	11,324	417	10,817
電気・ガス・熱供給・水道業	3	218	2	123	7	118
情報通信業	77	794	74	818	76	522
運輸業、郵便業	135	3,816	125	3,561	142	3,431
卸売業、小売業	1,782	17,549	1,699	17,550	1,464	16,869
金融業、保険業	94	1,277	94	1,433	86	1,233
不動産業、物品賃貸業	872	2,785	849	2,601	788	2,582
学術研究、専門・技術サービス業	289	2,437	290	1,376	311	1,675
宿泊業、飲食サービス業	1,092	9,345	1,098	9,815	913	8,730
生活関連サービス業、娯楽業	674	3,964	695	3,833	594	3,206
教育、学習支援業	296	2,219	298	2,304	312	3,065
医療、福祉	585	9,381	708	11,068	780	15,020
複合サービス事業	20	235	18	176	19	173
その他サービス業	367	5,160	335	5,491	354	4,040

出典：大和市統計概要 令和6年度版

3. 土地利用区分

地目別土地面積を表 2-2-4 に示します。畑や山林が減少し、宅地が増加しています。

また、都市計画用途地域では表 2-2-5 に示すように市街化区域が約 4 分の 3 を占め、その多くが住居地域となっています。

表 2-2-4 地目別土地面積

(各年 1 月 1 日現在；単位：km²)

年別	総面積	田	畑	宅地	山林	雑種地	その他
令和 2 年	27.09	0.09	1.86	14.33	1.12	2.30	7.39
令和 3 年	27.09	0.09	1.85	14.35	1.10	2.30	7.40
令和 4 年	27.09	0.09	1.82	14.38	1.09	2.31	7.40
令和 5 年	27.09	0.09	1.80	14.42	1.09	2.31	7.38
令和 6 年	27.09	0.09	1.75	14.46	1.08	2.33	7.38

出典：大和市統計概要 令和 6 年度版

表 2-2-5 都市計画用途地域

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

区分	面積(ha)	構成比(%)	
			市街化区域内
総面積	2,709	100.0	-
市街化区域	2,019	74.5	100.0
第一種低層住居専用地域	705	26.0	34.9
第一種中高層住居専用地域	163	6.0	8.1
第一種住居地域	537	19.8	26.6
第二種住居地域	45	1.7	2.2
準住居地域	43	1.6	2.1
近隣商業地域	102	3.8	5.1
商業地域	45	1.7	2.2
準工業地域	321	11.8	15.9
工業地域	58	2.1	2.9
市街化調整区域	690	25.5	-

出典：大和市統計概要 令和 6 年度版